

神戸市会議員

ごとう  
五島 だいすけ通信

2021年  
冬号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ



少し肌寒くなってまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか  
コロナとの戦いも長くなり、第5波を超え冬には第6波が来るかどうか？というところですが、コロナに対してはしっかりと備えつつも、疲弊した経済をどのように活性化させるか？という事が今後の神戸市のために重要なテーマとなっております。

今号では、議会で取り上げた質疑のうち、神戸経済のために短期～中期で取り組むことが可能な課題を論じたものを中心にご報告させていただきますので、是非とも最後までお読みください。



区役所窓口機能外部委託は正しいのか

**五島** 今回北神区役所と兵庫区役所において、定型業務の一部外部委託化がなされるという事だが、どれくらいの財政効果を見込んでいるのかをまずお聞きします。

**岩崎行財政局長** 今回の取り組みは令和3年10月から市民課、令和4年から市税窓口・年金医療課などに拡大していく予定であり、委託費は約4億円で財政効果は約1億円を見込んでいます。

**五島** 委託先として派遣会社が選定されているため、窓口で働く方は直接雇用ではなく派遣スタッフになると考えられる。委託費は支出するから把握できるが、末端で働くスタッフがどれ程の給料をもらうのか当局として把握する予定はあるのかお聞きします。

**岩崎行財政局長** 労働関係の法律や最低賃金法などは遵守していただく。

**五島** 最低賃金以上という事だと思うが、最近派遣会社の中抜きがひどいということが社会問題にもなっている。我々の一つの観点として業務委託をするにしても、我々が支払った税金から支払うわけですから、財政効果は出しつつも出来るだけ市内に還流するようなお金の使いかたをする事が血の通った行政をするうえで重要な観点であるかどうか？

**岩崎行財政局長** 公募において地元企業に加点したり、スタッフはできるだけ市内在住の方を選んでいただくような事を条項に入れたりしている。

**五島** コスト削減のために、直接雇用でなく業務委託がツールとして使われている。これは区役所業務以外でもあるし、他局でもある。子供を養うために十分な給料を得られるのか？これを例えばアルバイトとした場合に、ちゃんとした家計の足しになるのか？その辺のことをしっかり考えて仕事のデザインをしていただくようお願いする。コスト削減は大事な事ですが、安ければいいというものではありません。

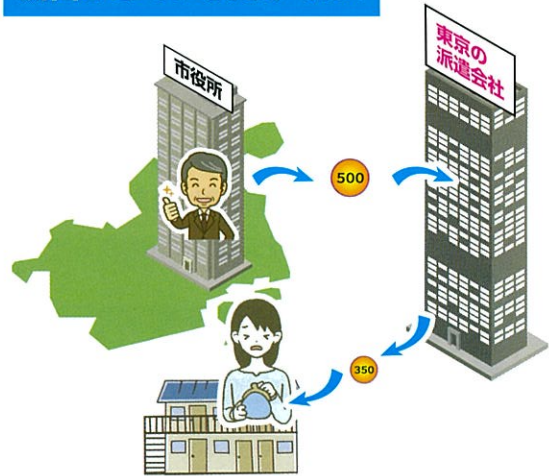


例えば災害時の応援であったり、臨時的な体制構築などは派遣スタッフでは出来ない事です。また700あった経費を500に減らせたとしても、その500のうちの150が市外へ出て行ってしまえば、経済の市内循環という観点から見て長期的に市民のためにはなりません。

その人件費削減……



市外にお金を流出させているだけでは？



市役所人事では、違う給与体系の職員を雇用する事がタブー視されているようですが、これでは逆に市民にも市職員のためにもならない人事にならないでしょうか？また、雇用するリスク(教育が面倒・首を切れない等)を背負いたくない故の業務委託というのも本末転倒だと考えます。責任を持った直接雇用をしながらの財政改革をすべきではないか？また、官製ワーキングプアを生んでしまうような業務デザインはするべきではないのではないか？派遣スタッフとして働いていただける方には感謝しつつも、こういった経済の視点も踏まえてチェックしていきたいと思います。なお、市役所の電話交換業務についても、総合コールセンターという名のもとに交換業務の外部委託が進み、昨今の「市役所・区役所へ電話してもつながらない、たらい回しが酷い」という問題が多発してしまいました、このような問題や上述の視点も含め引き続きチェック・改善要望を重ねて参ります。

# 神戸市の企業誘致施策 人口減少を防ぐために企業を増やし、雇用を

## 企業誘致施策 500 スタートアップ神戸の効果について

**五島** 平成 29 年度から、米国シリコンバレーのベンチャーキャピタル、500Startups との連携により、起業家育成プログラムを実施し、これまで約5億円を支出してきました。プログラム参加企業のうち、本市へ5社進出と聞きますが、このうち多くは本社ではありません。市として事業効果をどのように考えているのか。本社が来るのと、単なる事業所が来るのでは大きな違いです。本社機能を誘致するためには、神戸市などがベンチャーキャピタルそのものとなって、市内に本社を構える条件つきでスタートアップへ直接出資すれば、本市へ進出する強いインセンティブになるとともに、当該企業が成長すれば、雇用の増加や配当利益も得られ、費用対効果の高い取組になると考えられますがどうでしょうか。

**久元市長** この事業は 5 年目であり一定の効果は得られているが、本社移転となるとハードルが高いので、市の幹部において、そういった問題意識をもち取り組んでいきたい。市が出資という事ではないが、県と民間とともに「ひょうご神戸スタートアップファンド」を立ち上げました。

**五島** 本社が大事だという認識は持っていただいていると評価しますが、この事業に関しては 5 社進出のうち本社がたったの 1 社、事業所が 4 つだが雇用は極端に少ないため、費用対効果はまずい。市民からすると、企業誘致をするからには税金を払った我々市民にメリットがないといけな。しっかり方向転換をして本社誘致をする事に舵を切りなおしていただきたいがどうか？

**久元市長** 効果は認めつつも神戸経済にとってメリットがある形で進めるのは大事な視点だと思います。議員のご指摘を踏まえながら、検証とスタートアップ支援を前に進めたいと思います。

総額五億円を投じた事業だが……

### 500Startups の効果はあるのか？

企業名	本社	参加年	拠点種類	神戸の人員
Hacarus	京都	2016年	拠点	0人
T-ICU	芦屋⇒神戸	2018年	拠点⇒本社	19人
ELXR	シンガポール	2018年	拠点	1人
Splink	東京	2019年	拠点	1人
NEL	米国	2019年	拠点	2人(予定)



ご覧のように、この事業に総額約5億円を投下しているにも関わらず、本社は1社のみ、事業所と言っても雇用増はたったの5名のみ。資金は我々の税金から出ているのだから、もっと神戸がわがままを言うことが出来る事業でなければ意味がありません。起業支援に税投入をする事は将来の神戸のために必要ですが、市民のためになるお金の使い方がなされるように取り組みを続けます。

## 都市型創造産業の成長支援について

**五島** 平成 23 年の神戸市産業連関表によれば、都市型創造産業8業種の市域内外取引比較をすると、約 3,000 億円以上が市域の外に資金が流出してしまっている一方、福岡市の場合は、約 3,800 億円以上の外貨を獲得しているという報道がありました。

これは大問題だということで、本市では都市型創造産業の集積により、市内経済の好循環を生み出すため、都市型創造産業統括プロデューサーの任用をはじめ、様々な取組を実施したということですが、これまでどのような成果を残しているのかお聞きます。

**久元市長** クリエーティブ人材の育成として、ウェブデザイナーを育成するプログラムで、この2年間で市内約 30 名の育成。さらには、クリエイティブ人材との協働により解決する事業につかまして、過去3年間で 30 社を支援をし、ブランド構築や店舗の改装支援を行いました。六甲山上のスマートシティ構想も、ある意味で都市型創造産業の集積を目指す視点も盛り込んでおりまして、これまで一定の成果が上がってきております。

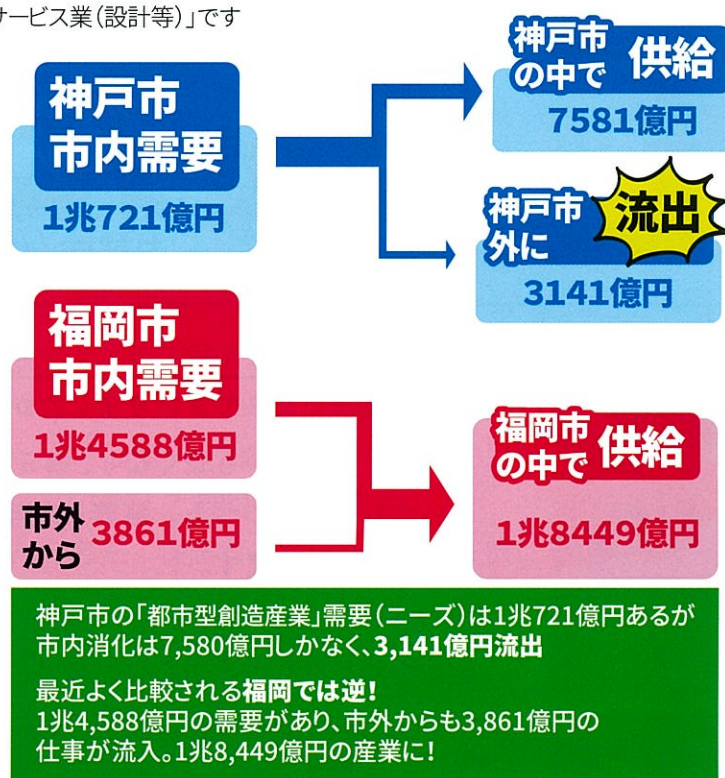
しかし、残念ながら全体としては、胸を張って答弁するような成果には程遠いという状況にあるかというふうに思います。神戸市は、もともとのづくりのまちですから、この視点で成果が上がるということについては、なかなか時間もかかるとは思いますけれども、もう少し市内で戦線を再構築をいたしまして、より幅広く、今日の五島議員の御指摘も十分踏まえて、また様々な外部の視点も入れながら、改めて対応を再構築しなければいけないと思います。



神戸の「都市型創造産業」まずは地元に出す事から始めるべきです！

### ※都市型創造産業とは？

クリエイターが関わることで、既存産業の高付加価値化やイノベーションを誘発することができる産業分野とされており、質疑の中の 8 業種とは「情報サービス業・印刷業・デザイン業・インターネット付随サービス業・映像音声文字情報政策サービス業・広告業・写真業・土木建築サービス業(設計等)」です



この産業に関する需要が市内には 1 兆 72 億円あるところを、市内でサービスが供給できたのが 7,580 億円で、3,141 億円の関連する売り上げが市外に流出してしまっているという調査(平成 23 年)があり、この主な原因を神戸市は「市内にサービスを提供できる事業者がいない事」としており、このため、クリエイターの養成などを予算化して実施しているという事なのですが、果たしてそれが正解でしょうか？

別途、市役所自体が発注する都市型創造産業をどこに(市内または市外に)出しているのかを調べて欲しいと依頼したのですが、残念ながらそのような整理されたデータはないという事でした。都市型創造産業とされる仕事を(もちろん他の仕事も)市内に発注しようとする努力を怠りながら、「産業が育たない」とポヤいていてもダメだと考えます。これでは仮にクリエイターを養成しても仕事がある他都市に引越してしまうでしょう。

まずは、市役所が出す仕事を徹底的に地元に出していく事が、都市型創造産業や他の産業を育てていく本筋ではないのか？ という視点で、市内経済の活性化に取り組んで参りたいと考えています。

## 市内発注の増加に対する取り組みについて

**五島** 以前から神戸経済を発展させるためには神戸市が地元に出す仕事を投げっていくことに注力すべきだと話しており、入札において地元企業であれば 10%加点など色々取り組みを始めているところですが、現状どうなっているか？

**若崎行財政局長** 我々(行財政局)が直接やっている入札については、地元で施工できるものは地元だけに指名競争入札、制限付でも地元を対象にしています。大規模事業であり、地元事業者だけが難しい場合には JV(ジョイントベンチャー)を活用し、構成員(工事に当たる事業者グループ)のうち必ず 1 社は地元にするというルールを作っています。入札については件数ベースで 88%・金額ベースで 70%という地元発注率となっております。

**五島** いま(行財政局の)契約管理課を通った数字を出されたが、はっきり把握できるのが、まずこの契約管理課を通った工事請負契約の数字になるのですが、件数ベースで 88%というのはまあまあ良い数字なのかとも思っています。ただ、この工事請負契約の中でも、設備関連については件数ベースで 72%・金額ベースで 42%と低くなってしまっています。契約がすべて行財政局を通るわけではなく、他局からの委託契約や、特別会計・外郭団体からの発注もありますが「地元を使っていきましょう!」と、中心となって仕事をしたいのは行財政局だと思っています。

**委託契約については、令和元年の数字として地元是件数ベースで 61%・金額ベースで 55%と低くなってしまっていますよね、ここも全庁あげてやらないといけません、どうですか？**

**若崎行財政局長** 低くなっています、委託契約の中身についても令和 2 年度の分については集計しているところであり、業種別の数字についても分かってくると思いますが、そのヒアリングの中で、地元発注できなかった理由を聞きながら地元発注の周知をしていきたいと思っています。委託契約については、履行実績を加点する事がありますが、市外に出してい



る仕事については次回履行実績を求めないなどルールとして考え、地元企業を優先していく取り組みもやっているとこです。

**五島** 我々が以前から要望している事もあり、やっていたはいる所はある。ただ、行財政局が直接管理している(請負契約などの)数字はすぐ集計できるけども、他の局がやっている仕事は把握できていない、全てのデータを持って「ここが強いね、ここが弱いね」という

分析が必要である。データの把握と業種分析などを今後もっと進めて頂きたいと思っておりますがどうですか?

**岩崎行財政局長** 担当部局だけではなく行財政局も含めて考えることが重要と思う。おっしゃるように業態・業種別の集計とかもしながら、実際、どういう部局の、どういう業務が特に地元発注が進んでないのか、分析して課題の対応に生かしていきたい。

**五島** ほぼ満足いく回答を頂いたが、データを使える市役所にならなくてはいけないし、これは市長もそのように言っている。令和2年度の数字を分析してそれで終わりにしては困るので、今後は毎年すぐにその数字がとれる状態にして頂きたい。もう一声

**岩崎行財政局長** そうですね、この調査を毎年継続してする予定とし、その中で委託契約についても地元発注率の向上につなげたいと思っております。

**五島** 税収の確保が重要でそのために企業誘致が大事です。地元の仕事に投げる事が企業誘致の第一歩だと思っているので、そういった姿勢で引き続きよろしく願います。

## 神戸市から地元企業にどれくらい発注しているのか?

		地元		準地元		合計	
		契約件数	割合	契約件数	割合	契約件数	割合
建築	契約件数	192	98.0%	4	2.0%	196	100%
	契約金額	18,614,722	81.9%	4,107,719	18.1%	22,722,441	100%
設備	契約件数	225	72.1%	87	27.9%	312	100%
	契約金額	11,306,321	42.6%	15,257,130	57.4%	26,563,451	100%
土木	契約件数	319	97.9%	7	2.1%	326	100%
	契約金額	31,715,885	86.2%	5,076,888	13.8%	36,792,773	100%
その他	契約件数	61	84.7%	11	15.3%	72	100%
	契約金額	4,945,554	55.5%	3,964,761	44.5%	8,910,315	100%
建設コンサル タント業務	契約件数	174	79.8%	44	20.2%	218	100%
	契約金額	1,795,436	74.9%	601,820	25.1%	2,397,256	100%
委託契約	契約件数	2,554	61.3%	1,614	38.7%	4,168	100%
	契約金額	49,199,603	55.2%	39,940,475	44.8%	89,140,078	100%
合計	契約件数	3,525	66.6%	1,767	33.4%	5,292	100%
	契約金額	117,577,521	63.0%	68,948,793	37.0%	186,526,314	100%

地元というのは神戸市に本社があるもの、準地元等は、支店があるものおよび市外の事業者である。この質疑の為に市役所で保有されているであろう発注先のデータを調べるように依頼したが、残念ながら行財政局の契約管理課という課が持っているデータしかすぐに出てこない状況であった。工事請負契約と建設コンサルタント業務は契約管理課が持っている数値であるため令和2年度の数値だが、他部門が管理している委託契約はこういうデータがないため令和元年度のものになっている。

この数字を見ると、工事請負契約は設備以外は地元発注率が相当程度高くなっているが、委託契約の地元率は低い事がわかる。また、件数ベースで地元率が高くて金額ベースで見ると率が落ちるため、金額の大きな契約は市外に流れてしまう傾向にある事がわかる。

これは、発注において金額が大きくなると法律上市外に向けても公募を行う必要があったり、そもそも市内で生産していない大型機械設備などがある事が理由と考えられる。

工事請負契約に比べ委託契約の地元率は格段に低い、これも、大規模な基幹システムなど市外に頼らざるをえない部分が影響するが、例えば料金徴収や受付・コールセンター業務などは地元発注しやすい業務であるし、デザインや広報などを含むいわゆる都市型創造産業に属するものの地元発注率が低くなっていることが予想される。

この質疑で、まずデータを解析する事が実現しますが、データをもとに地元発注率を上げること、そして、市内の経済循環を向上させ雇用を増加させる事が目的です、目的を達成するまでしっかりと注視し、取り組みを続けてまいります。

## 地域に根差した商店等のネットワーク構築について

**五島** 本市には、地域に根差した隠れた名店が多く、地域社会を支えている一方、店舗が点在し、発信力も弱く、市民に浸透していないといった課題もあります。鈴蘭台では、地域のつながりを大切にするため、地域の商店が有志でネットワークを構築し、地域を盛り上げるための「LOVE LOCAL PROJECT」を発足いたしました。鈴蘭台のように商店街に属さない個々の商店等をつなげる仕組みを構築し、ネットワークを生かした発信に取り組むなど、商店の売上げ増加につながる取組を検討すべきと考えますが、いかがでしょうか?

**久元市長** 鈴蘭台では、駅前での商店の一定の集積はありますが、駅からかなり離れた所に、商店が点在をしている状況を、改めて確認しまして、商店をつなげる動きが始まっていることは、大変意義があることだと感じます。

こういう個々の商店をつなげる取組を支援しようというのが、令和3年度当初予算に盛り込みました、商業者によるにぎわい魅力発信活動支援事業です。この事業は、地域の商業の活性化、地域の個性を生かしたまちの魅力とにぎわいの創出を図ることを目的といたしまして、個々の商業者同士グループを構成をいたしまして、自由な発想で同じ目標に向けて実施する取組を支援をするものです。

対象となる事業は、鈴蘭台のLOVE LOCAL PROJECTのように、個店がつながって実施する取組で、例えば、まちバルやテイクアウトマルシェなどのにぎわいイベント、チラシ・ホームページの作成、SNSなどによる魅力発信、さらには食材フェアなどの商品開発・販売促進などを想定しております。現在、具体的な制度設計を行っている段階ですけれども、市内の中小事業者が5店舗以上集まったグループを対象に、様々なアイデアを募り、事業内容については、できる限り幅広く柔軟に採択していきたいというふうに考えております。

## 上記質疑の後、ゴテンジャーという補助制度が発足、現在も対象事業を募集しております!

- 小売 飲食 サービス業を含む事業者が ●5者以上集まり
- イベント、魅力発信、販売促進などを行う場合に
- 1者5万円、事業につき50万円を上限として、事業の半額を補助する

という補助金です 予算使い切り次第終了ですが、まだ半分弱ほど残額あり(事業終了はR4年2月末予定)地元で何かする場合には是非お使いください。

詳しくは下記のQRコードからHPをご覧ください、又は私宛にメールをください。

地域活性化のため、コロナ対策との兼ね合いもありますが、利用できる制度はぜひとも地域で利用していただきたいと思っております、よろしく願います。



テイクアウトマルシェ  
スタンプラリーなど



チラシ・WEB サイト作成  
SNS発信など



商品開発や  
食材フェアなど



※ゴテンジャーに関する神戸市HPはこちらのQRコードよりどうぞ

KOBET  
UNESCO City of Design

## 神戸の未来と活気を守る!

神戸市内のお店や事業者のみならず  
地域活性に取り組む  
**戦隊募集中**

補助額  
最大 **50万円**  
(1名あたり5万円)

募集期間  
令和4年2月28日まで

例えばこんなのも、他にもいろいろ

テイクアウト  
マルシェ

スタンプ  
ラリー

チラシ・  
WEBサイト

SNS

商品開発  
食材フェア

神戸市商業者によるにぎわい・魅力発信活動支援事業補助金  
神戸市

# 神戸市立小中学校の校則は時代にあったものに改定を

以前より、学校の校則について疑問を持つ方は多くおられました。例えば、市立中学校では「靴は白一色しかダメ」「男子の髪型はツープロック禁止」「女子の髪型はポニーテール禁止」などです。これらは、合理的な理由がなく、**いったい何のためのルールなのか？**がよくわからないまま現在に至ります。

**私が中学生の頃、男子の髪型は2枚刈りに統一されていましたが、これも当時は神戸市だけにあった校則だった**と後に知りました。2枚刈りだった理由は「校外で中学生を見分けやすくするため??」だとか。2枚刈りの校則は個性を尊重する考え方や学生の頭髪自由化運動などから1995年までに全校で撤廃されましたが、今でもよく分からない校則は残っています。



※校則(学校生活のルールや決まり)とは  
「生徒が学校生活において守るべき規範であり、生徒が、将来、規範意識を持って生活ができるように、規範意識を遵守する意識を涵養するとともに、何をすべきか、何をしてはならないのかという善悪の判断を行う能力を育てる意味もある」とされています。

校則に対する考え方は、個人個人で特定の校則ごとに異なった意見があると思いますが、合理性や時代に合わないものは変えるのが良いのでは? と神戸市教育委員会と議論を続けてまいりましたが今年度、大きく変わっていく社会情勢にあわせて、校則を時代や地域にあったものに改定しやすくするために「学校生活のルールや決まり(校則など)に関するガイドライン」が策定されました。

ガイドラインにおいては、  
●生徒が主体となって考える機会を持つために、校則について毎年度話し合う機会を設ける  
●保護者や地域の意見も反映されるよう、学校評価の項目に校則を設定し、学校運営協議会や学校評議員会等を通して、その結果についての協議を行う  
●各学校園において校則に関する検討を行う校内組織を設置し、組織的かつ計画的に校則に見直しを毎年行われる体制づくりを行う  
●見直した内容は保護者にお知らせし、学校ホームページに掲載し周知を行う。また取り組みの経過を引き継いでいくとされています。

	委員会事務局	学 校
6月	ガイドライン策定	児童生徒や保護者が関わる仕組みづくり
7月 ~ 2月		見直しの実施 ↓ 結果の公表 (保護者へのお知らせ・学校HPの掲載)
2月	報告書受領	報告書作成・提出
3月	ガイドライン検証	

※令和4年度以降も、見直しの実施と報告、ガイドライン自体の検証を継続します

若者の政治参加が少ない事を悲観する意見が多くありますが、この校則改定において何かを変えることが出来る守る事が出来るという事を、学校と学校生活を自分たちが変えることに取り組むことで、結果的に「**社会を変える事も出来るかもしれない**」「**変えるために意見を発していこう、政治参加しよう**」という思いに少しでも**つながるのではないか?**と期待しています。

お子さんたちも、保護者の皆様も、これを機に学校のことについて考えを深めて頂き、「**変えられない他人のルール**」ではなく「**自分たちの事**」として参加して頂ければと思います。

また、改定の中で、色々な考え方が存在する事もあると思います。他人の考え方、違った考え方もあります。「この命題において、あなたはそうだけど、私はこうである」と、考え方が違ったとしても敵対するのではなくお互いを尊重しあう事も子供たちには学んで欲しいと思います。



## 音楽ホール建築に100億円は無駄、中止に!

令和2年未来都市特別委員会 2020年11月

**五島** 2号館跡地に音楽ホールを作る話があるが、民間が自ら経営させてくれという話はあるのか?

**都心再整備本部長** ない、公共施設として市が整備し、運営はこれから考える。

**五島** 私が見たところ、2号館の再整備に関するサウンディング調査においては、賃貸物件を経営したい向きはあるが、(民間資本の立場からは)音楽ホールは市が勝手にやってくれという意見しかない。要は「ホールに対する負担はしない」という事だ。ホールというのは元々採算の取れるものではないため、神戸国際会館などではホール以外のテナントの賃料収入で経営を成り立たせている。大倉山から文化ホール大ホール中ホールを三宮に移転させるし、元々国際会館もある。その上**ここに新しい音楽ホールを持ってくる必要性はしっかり吟味したのか?**

**都心再整備本部長** それは文化スポーツ局の所管になるが、議会や市民含め色んなところからの意見がありこの計画になっている。

**五島** 直接の局はそうかもしれないが、2号館跡地に音楽ホールなのか? その他の施設なのかを検討するのはあなたの局だ、私も音楽関係者に話を聞いたが、このホールは要らんという声の方が多かった。むしろ800席規模ではなく、100~200席規模のものが欲しいという声の方が多かった。そもそものニーズ調査はしているのか?

**都心再整備本部長** いま持ち合わせていない

**五島** ないんですね・・・無い・・・三宮の中心の事だから、「あれは文化スポーツ局が作ったものですわ」では都市局の職務怠慢である、しっかり調査するようにお願いします。

令和3年予算特別委員会 2021年3月

**五島** (コロナ後の都心再整備について) 2号館の音楽ホールなんかほんまに要るんか? クロススクエアなんかほんまにやるんか? 皆さん自分の心に問いかけてくださいよ、本当に要るのかどうか?

やってほしいっていう人が本当にいたのかどうか。誰もそんなこと望んでない、柔らかく方向転換をよろしくお願いします。



令和元年に市役所2号館再整備案として出されたものの中に、この**音楽ホールを約100億円かけて設置しよう**というものがありました。

賛否ありましたが、そもそもの必要性に疑問がある事、コロナ下で予算が厳しい中ホール設置よりも**音楽業界その他へのソフト面での支援の方が必要であろうという事から五島は反対**しました。

**この質疑の後、音楽ホール設置は取りやめになり、かわりに「Withコロナ時代の文化芸術支援」という事で**

●まちなかアート支援事業 ●KOBEアート緊急支援事業(ホール、文化芸術、ミュージアム、映画館支援など)の予算が計上され、多くの方に利用頂きました。

**お預かりした大事な税金をどのように使っていくのか? 役所が出した提案になんでも賛成ではなく、市民目線での検討を行政がしっかりできるように今後も活動して参ります。**

神戸市会議員

ごとう  
五島 だいすけ通信

2022年  
新年号

http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net

ごあいさつ

2022年も新たなスタートを切りました、皆様いかがお過ごしでしょうか。2021年は2020年に引き続き新型コロナウイルス対策に注力しつつも、本来力を入れるべき政策実現に奔走する年になりました。今号では、王子公園再整備について、見開きに会派からの2022年新年度予算への予算要望にて取り上げた項目を中心に、裏面ではデジタル通貨とベーシックインカムについての質疑をご報告させていただきますので、是非最後までお読みください。

王子公園再整備(素案)について 意見募集は1月17日まで!

市の素案

2021年11月末の総務財政委員会において、王子公園の再整備素案が提示されました。既に報道などでご存じの方も多いと思いますが、この素案についてまず概要をお読みいただき、素案と王子動物園に対する議会での活動をご紹介します。

公園内の施設概況と課題

各種施設がかなり老朽化していることなどが触れられています。

- 動物園の展示方法が陳腐化していること
- オープンスペースの大部分が駐車場になってしまっていること
- 陸上トラックが日本陸連の公認を除外されてしまっていること
- プールが屋外であり期間限定利用(ほぼ2か月しか利用なし)であることなど

再整備の意義

神戸市の基本計画である2025ビジョンでグローバル貢献都市を目指す

指すということに合わせ、まず目的として「大学を誘致する」ことがあり、それにあわせて「動物園のリニューアルやスポーツ施設の再編」を行うとされています。

再整備のコンセプトと方向性

「グローバル貢献都市を先導する学術・文化・スポーツ拠点の形成」がうたわれています。

ゾーニング

ピンクのエリアが大学ゾーン、青が動物園ゾーン、オレンジがスポーツゾーンとされています。中心にある灰色の駐車場=1haは立体駐車場とされており、収容台数としては現状のサブグラウンド

を臨時駐車場として使用した場合と同等の駐車台数という事です。

再整備による各施設の取り扱い

大学誘致によるゾーニングの結果として、廃止されるものや見直すものが個別に記載されており、遊園地やプール、テニスコートなどが廃止とされています。



オレンジ:スポーツ  
青色:動物園  
ピンク:大学(文化施設)  
灰色:駐車場

しかし! 神戸市から出されたこの王子公園再整備の素案ですが.....

元々「王子動物園が狭く、動物福祉の観点からも北区に移設すれば良い」と主張していた者としても、

この素案は受け入れ難いものです。

ゾーニングについて

新たに大学を誘致することを目的としているため「せせこましい」イメージになってしまっています。また、神戸市の都心再整備でもそのようなのですが、余剰している土地が少ない事から、再整備やリニューアルをするときには空き地に新たに建設する感覚ではなく、工事をする順番やスペースを合わせて検討する必要があります。

大学を追加し、更に今あるものを出来るだけ残そうとするために、多くの施設が中途半端なサイズになってしまっているのではないかと考えられます。

特に、駐車場の行き場がないため、遊園地が陳腐化しているとして廃止してしまうものとされ、動物園のど真ん中に立体駐車場を作ってしまう事は来園者や動物たちにも圧迫感を与えてしまうのではないのでしょうか?

大学について

人口減少時代に新たな大学が要るのか? という声もありますが、大学を誘致できれば確かにその学生数だけ市の人口は増加しますし、関連する産業も付いてくるでしょう。

ですが、いまの神戸市の本題は、就職のために大学卒業後に市外へ転出してしまふ事です。

せめてこの一等地を利用する大学のプランが何なのか? どれほどの生徒数を約束できるのか? などをまず審査するべきでしょう。

大学は通常、固定資産税を市に払わないものでもありますが、我々市民が満足するレベルの大学でなければ、誘致する必要はないとも言えます。動物園の近くに位置するというなら、獣医学部を設置し、繁殖・育成を含めた希少動物の保護機能を向上させるべきです。

動物園について

グローバル貢献都市をうたうのであれば、動物園もグローバルな視点に耐えるものでなければいけません。例えばゾウの飼育環境にしてもJAZA(日本動物園水族館協会)が設定した基準を満たしていません。運動場は2頭で1,000㎡が基準ですが600㎡

狭い.....



にも満たないですし、プールで水浴びできる環境が必要ですがプールはありません。もちろん世界基準はより自然に近い環境を要求していますから、海外から来たお客さんが王子動物園を見たとき、どう思われるかは明白です。狭い事とプールがない事で、ゾウのマックとズゼが不幸だと言うわけではありませんが、動物園は都市の格をあらわすものであり、動物が幸福に暮らしている姿を見ることが来園者の幸福感につながり、神戸のまちの格を上げるものです。

スポーツゾーンについて

かなり縮小されてしまいます。スポーツや芸術文化などは、それ自体が都市の収入を生むことはまれですが、その存在がまちの価値を高め、近隣の不動産価値を高めるものです。縮小される部分の代替機能も不完全なままにゾーニングを進める事は、神戸のスポーツを後退させてしまいます。

遊園地について

これには賛否があります。傾向として、小さいお子さんがおられる方などはこの遊園地をなくさないで欲しいという意見をお持ちですが、結婚前の年代の方などは興味がない方がおられます。この素案が出てから、現地で聞き取りをしたところ、「USJなどとは違う良さがある」「動物園とセットで楽しめるから小さい子供を連れて来たい」「ここが無くなると小さい子供を連れていける遊園地が無くなる」などの声がありました。子育てするなら神戸! とうたい、この遊園地を紹介してもいいです。廃止することは思いとどまって欲しいものです。

縮小



神戸市 市民意見募集HP



市民意見募集(パブリックコメント)は1月17日まで受け付けられています。この素案はあくまで素案ですので、私も含めて市民の皆さんからの声で変更も可能であるはずですが、ただ、何も言わないでいると素案はそのまま計画になります。賛成であれ反対であれ、思いを市政に寄せて頂きたいです。是非、多くの声をお寄せいただきますようお願いいたします。

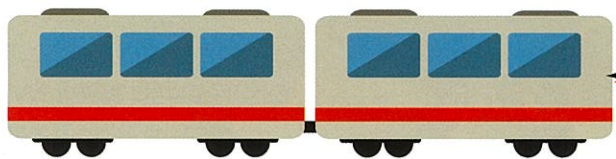
## ● 高校生に対する通学費補助については、ひとり親世帯のみならず全家庭に拡大させること

**五島** 北区選出議員として、交通アクセスの要望をこれまでも数多くさせて頂いています。要望に応じて過去に北神急行の高校生通学費補助などを実施していただいたことには感謝しています。北神急行の市営化についても実現頂き、そもそもの運賃が下がりましたので北神急行での高校生補助は終わり、ひとり親世帯の通学費補助へと姿を変えています。ただやはり、**北区や西区に住むご家庭では通学費の負担が大きいので、ひとり親世帯に限らず、全世帯に対して通学費の補助をお願いしたい。**

**市長** 確かにおっしゃる通りだと思う。全額となると大変なので、通学費が高額になっている方の負担をまずは部分的に補助していくようなことを考えたい。

**五島** その場合通学費が高額になる方には恩恵があるが、近所の学校に通う場合は通学費も安く済むが恩恵がない。そういった家庭には塾代や習い事の補助を行うことなども併せて検討していただきたい。

特に今回の要望で取り上げたのが、この高校生の通学費補助です。全額補助は予算として大変なので、**まずは部分補助が令和4年度から実現できそうです。**部分的にでも市民の皆さんのために姿勢が前進しますので、大きく評価したいと思います。他の要望については、文章などで行っております。



通学費補助が実現へ

## 役所業務について

- 近年の市民サービスの多様化に対応するため、市役所内の人材や人員数が適正に配置されているかを抜本的に見直し、市政課題に取り組むために必要な人材人員については確保に努めること

⇒人員は削減すればするほど行政改革と言えるのか？ 答えはNOであると考えます。非効率を廃止した上で、わが市の規模と時代に合わせたベストな人員規模で市民サービスをしていくべきです。

次代を担う行政マンを責任をもって育てていくのも、未来の神戸のためには重要です。

役所をただ人員削減すればいいわけではない。

- 区役所等の窓口業務や電話交換業務などの委託事業については、効果と経費をしっかりと評価するとともに、事業が市民の所得につながっているかどうかについても検討を行うこと

⇒市政報告前号でもご報告しましたが、窓口業務などを委託事業者をお願いした場合、かかる事業費が**事業者およびその職員の方の所得として市内へ還元されるのかどうか？**しっかりと検証が必要ですし、出来ていないのであれば事業のデザイン変更が必要です。



## 子育てについて

- 新婚・子育て世代向けの住み替え支援・補助について神戸市への居住促進をすべく所得制限を速やかに撤廃すること
- あらゆる子育て支援策についての所得制限の撤廃を検討する

- 幼児教育・保育無償化に伴い、無償にならなかった主食費、副食費についての保護者負担の軽減を図ること

子育て支援！



- 在宅保育をしている家庭に対しても、保育所等に通わせている家庭と同等の支援を行うこと

⇒女性活躍社会と言えども家庭で保育する選択はあり、また、保育士不足の中で、ゼロ歳児～2歳児までは、園児に対する保育士の数が多く必要となり、小規模保育所などの整備運用はかなりのコストがかかってしまいます。これは国の課題でもありますが、**家庭保育を選択する場合にも子育て支援をするべきです。**



- 妊婦タクシーチケット制度は継続実施をすること

⇒コロナ禍での通院などのため、**妊婦さんにタクシーチケットを配布する予算を要望し実現**しました。まだコロナ時代は終わったとは言えず、また、子育て施策としてもこの政策は継続するべきです。導入当初は年間1万円のチケット配布、令和3年は5,000円、4年度も継続するように要望します。

- 障害者の親なきあと対策については、必要な入所・通所施設の整備に努めること

⇒障害の段階に応じて、地域で生活できる方も入所する方も希望は色々ありますが、**障害者の親が高齢化している実態と、その後の対応が喫緊の課題**となっております。まずは入所施設のニーズ把握についてのアンケートを実施、ニーズに対応したサービス拠点の整備および、老朽化した施設のリニューアルが必要であると要望を続けています。

## 交通・企業誘致について

- 災害対策の観点からも北区・西区の幹線道路については、機能強化・二車線化に取り組むこと

⇒北区や西区(垂水などもそうでしょう)は都心に対する郊外、車社会ですから道路の利便性は確保されるべきです。また、南海トラフ等、海側で災害が発生した場合には山側で物資の輸送機能などを確保しておく必要があります。**皆森～谷上など2車線化予算を要望確保しましたが、引き続き他の区域において**

二車線、道路の機能強化！

**も2車線化など利便性の向上などを災害対策の面からも**推し進められるよう取り組んで参ります。



- 神戸三田線(有馬街道)の水呑交差点から平野交差点間については、北区の玄関となる生活道路であるため、拡幅・美化に努めること

- 高齢者の社会参加を促進するため、神鉄シーバスワン事業を更に充実させるとともに、神戸電鉄で敬老パスが使用できるよう取り組むこと

⇒延々と要望し続けております、**敬老パスの見直し(特にバス代)に伴い、移動の軸とすべき神戸電鉄でも利用可能とすべき**と要望しております。

- 企業誘致施策については、市内への本社立地をする企業を優遇し、成長した当該企業が、市財政および雇用に貢献するものとする

⇒市政報告前号でもご報告しましたが、市民の税を使っただけの企業誘致ですから、**市外の企業の補助をしても市内経済への効果は薄いので、市内企業を優遇し、将来の神戸市を担う企業に成長していただきたい事**からの要望です。

で行うため、持ち時間は限られていますが、文章による要望もあわせ、数多くの予算要望を行っております。

## 物流・防災・観光などについて

- 都市局所管のポートアイランド・六甲アイランド等の未利用地について、阪神高速 5 号湾岸線の延伸が完工するまでの間、暫定的な物流用地への転用をすること。



市長に対し、北区に必要なことを直接訴える。

⇒神戸港の重要な機能としての海上コンテナの陸送に、**コンテナシャーシの駐車場(置き場)**が必要ですが、湾岸線の延伸のための工により慢性的な不足が加速してしまっております。駐車場は転活用が容易であるため、湾岸線工事が終わるまで港湾にある市有地の柔軟な活用が望まれます。

- 神戸港の集荷創貨推進のためにも、不足している物流用地を内陸部に確保するため、用途地域の見直しや市街化調整区域の事業利用を計画的に進めること

⇒物流倉庫などの用地はひっ迫しています、神戸市は国際港を持つとともに多くの高速道路の結節点となっているため**内陸部にも物流用地を確保**することで、神戸港の取り扱い量増加、雇用の確保、固定資産税や使用料収入の増加などが望めます。

- スーパー中樞港湾としての機能維持強化および集荷のために、海上コンテナ輸送事業については、CONPAS 本格導入早期化を含め、ヤード渋滞の解消に努めること

⇒海上コンテナ陸送事業にとって、**コンテナヤード前の渋滞対策は重要な課題**です。引き続き取り組んで参ります。

### 物流用地、港……神戸市民の生活と経済を支える物流！



- 消防団活動については、個人報酬と団報酬に分けて支給することを検討すること
- 神戸空港への国際定期便発着のため、規制緩和に取り組むこと
- DMO (観光地域づくり法人) については実質的活動の促進を行うために、独自財源確保に取り組むこと
- 滞在型観光を促進するため、六甲山・摩耶山などの夜景観光の更なる振興とともに、都市型ロープウェイ・ケーブルの整備を検討すること
- 新神戸駅から三宮・神戸空港へ乗り換えなしで移動可能な公共交通の整備に努めること
- ポストコロナを見据えて神戸発着の瀬戸内クルーズの誘致に取り組むこと

⇒コロナが終わる前から、観光都市としての次の戦略の準備が必要です。

- 神戸市に不足するナイトライフ充実に必要な、顧客はもちろん従業員の都市部への夜間滞在利便性を向上させるため、郊外への公共交通の最終電車・バスの時間を延長すること

## 教育・スポーツについて

- こどもの学習能力向上および教員の多忙化対策のため、各校で同様の取り扱いをしている事柄については、教育委員会事務局内で一元的に対応すること

⇒市政報告過去号でもご報告しましたが、**定期テストなど個々の教師が作成するのではなく、試験問題作成を集約**して、統一問題で試験をしたり、問題を選択して利用可能とするなどにより、教師の負担軽減、学校間での学力比較を可能とする事が出来ます。他にも、一元対応できる業務は効率的に行うべきです。



部活動には地域の力や外部顧問の積極導入！

学校間で似たような仕事があれば一元化して負担軽減！



- 教員の士気向上および教育改革のために、教員自身の意見やアイデア募集を行うこと

⇒**教員のやる気が子供の能力向上、学校の幸福度向上につながります。**上からの押し付けではなく、教員自らの手で学校を改善改革していく事が重要です。

- 部活動については、外部指導員や外部顧問の雇用を更に促進し、部活動充実に努めること
- 部活動の地域移行は神戸市が他都市に先駆けて行い、こどものスポーツ参加の機会確保、拡大に資するシステムを構築すること
- 市内スポーツ少年少女応援のため、外郭団体等を取りまとめたスポーツ基金などの応援システムを整備すること
- ポートアイランドスポーツセンターの再整備計画については、民間活力も取り入れ、水泳およびアイススケートの通年利用を可能とする施設となるよう検討すること
- すべての学校園の体育館や校庭の市民利用制度を見直し、市民が利用しやすい制度を確立すること
- 中学校給食については全員喫食制への移行に伴い、民間活力を導入するなど経済的効率性も考慮し、神戸の美味しい給食を実現すること



おいしい中学校給食！

# 地域デジタル通貨とベーシックインカムについて

**五島** 我が国では、デフレと少子化対策が急務であるとされながら、解決されない状況が長年続いてきております。結婚して家庭を築きたい、子育てをしたいという年代の給与は低く、この状態でどうやって子育てをしるというのか、というのが若者の正直な気持ちではないでしょうか。さらに、昨今のコロナ禍において、給与の削減や派遣切りなどもあり、減少傾向にあった自殺者数も、令和2年に増加に転じてしまいました。神戸市でも、令和元年は234名であったのに対し、令和2年には261名の方が自ら命を絶たれました。

このような中、定期的に生活の足しになるよう、一定額の現金を支給するベーシックインカム制度が世界的に注目されております。「働く人が減るのではないか」という懸念も、フィンランドや米国ストックトン市などで行われた社会実験では問題になりませんでした。

ベーシックインカムが実現すれば、所得が原因で結婚に踏み切れない、子供をつれない、また老後に数千万円が必要とされるために子供に十分な教育を受けさせてあげられないなどの問題が解決できる可能性があります。

国においては、この秋にデジタル庁が開設されるなど、国・都道府県・自治体が一体となった行政デジタルプラットフォームの構築を加速させようとしており、我が会派としては、デジタル庁の事務所を神戸に設けるよう、菅総理にも要望してきたところ(2020年11月)です。

こうしたデジタル庁の開設及びDX(デジタルトランスフォーメーション)の機運の高まりを踏まえ、少子・高齢化に対する抜本的な対策及び市内における資金循環のため、例えば本市独自の電子マネーを用いた、生活保護受給者への給付といった視点ではない、全く新たな視点でのベーシックインカム制度の試験導入のような、先進的取組を考へることも重要ではないでしょうか。そこまで立ち入ることが難しくとも、地域デジタル通貨を導入し、ためることよりも使うことを目的とした、神戸市にとっての第2の経済エンジンを装着できないでしょうか。

**副市長** ベーシックインカム制度の導入につきましては、国レベルにおける検討が必要になるのではないかと考えてございますが、御指摘がありました地域デジタル通貨の導入などは、スマートシティ推進の取組の1つとしたしまして、デジタル技術を使った決済サービス、キャッシュレスなど市民の利便性向上、地域内での経済の循環を目的とさせていただきます、これをスマートシティのサービスの1つとして検討していきたい。

**五島** 他都市で事例がないので、これに果敢に挑戦するというのは、非常に難しいことだと思います。副市長がおっしゃられた、今の決済サービスという事ですけども、これほどでもやることなんですかね。

デジタル決済、キャッシュレスサービス、これ本当にどこでもやることですから、特段、神戸が何かやっていると気にはなりません。とはいえベーシックインカムなどは、本当に難しいことだと思います。特に財源、副市長言われましたけれども、全くそのとおりで、じゃあどこから金持ってきてやんねんって言われたら難しいんですが、今日は時間がない

**コロナ禍の給付金。神戸で使えるデジタル通貨がパッと届いていたなら……!**



のであえてここには立ち入りません。財源は、別の議論もできると考えております。

まずはデジタル通貨の必要性について。いわゆる消費増税などのときに、地域振興券なんかを配る政策がありましたよね。このコロナ禍においても10万円の一括給付、これは神戸市の皆さん頑張って、他都市に先駆けて給付が行き届いたということで、非常に優秀だなと私も評価しておるところなんですけれども、それでもやっぱり、もっと早く届いてほしいのに、なかなか来なかった。そういう声はたくさんあったと思うんですよ。

デジタル通貨の何がいいかという、使った人、受け取った方が、また使って、その方がまた使ってというふうな、転々と経済が循環していくという——転々流通と言うらしいんですけども——この経済効果自体が、非常に今の神戸、日本にとっても大事なことだと思うんです。みんな大体今、お金を老後のためにためなあかんとかいう意識になってるじゃないですか。でもこのデジタル通貨は、使うことで価値が生まれるわけですよ。この、「使うこと」を大事にした政策を展開しなければならぬんじゃないかと。

さらに例えば、使わずそのデジタル通貨を持っていた場合は、ある程度たったら価値が減価していく。例えば5%減価しましたと。そしたら、使う人のところ、もしくは神戸市にその5%分が出現する——そういうことも可能になるわけです。

お金を神戸の中で使って、ぐるぐる回っているんだという状況になれば、ほかの地域に比べて、神戸市の経済は全く別ものになりますから。そうすると「ああ、神戸に行けば生活できる、子育てできる、結婚できる」、そういう状況をつくれると思うわけです。

ある意味、この神戸を変えることができれば、この国を変えることすらもできてしまうということで、私はそういったことに神戸市がチャレンジするべきじゃないかと、そしてそういうパラダイムシフトに突っ込んでいくという意識が大事だと思いますけれども、この辺の意識の持ちようについて、お答えいただきたい。

**副市長** やはり、神戸市民の利便性向上ですとか、神戸市の経済の発展ということを考えていくということは、大変大事なことだと思っておりますし、そのDXの推進の中でどういったことができるのかということは、色々検討の余地があると思っております。

先ほどから申し上げているように、地域内での経済循環、先ほど申し上げましたような地域通貨とか地域での決済、そういったことについて神戸市が率先して、いろいろパラダイムシフトして、国を引っ張っていく、そういった考え方については大いに賛同して、検討してまいりたいというふうに思っております。

**五島** 方向性が一緒だということを、確認できてよかったです。

**使いやすい・神戸で循環・緊急時に市も配りやすい・有効期限を切って急いで市民に使ってもらうシステムなども可能!**



「神戸で使うデジタル通貨は、お金の循環を促すだけでなく、お金の貯蓄にもつながる」といふ



**スピード感がなければ神戸も日本も危ない!**

## 「新しい制度はまず神戸から」くらいの気概を!

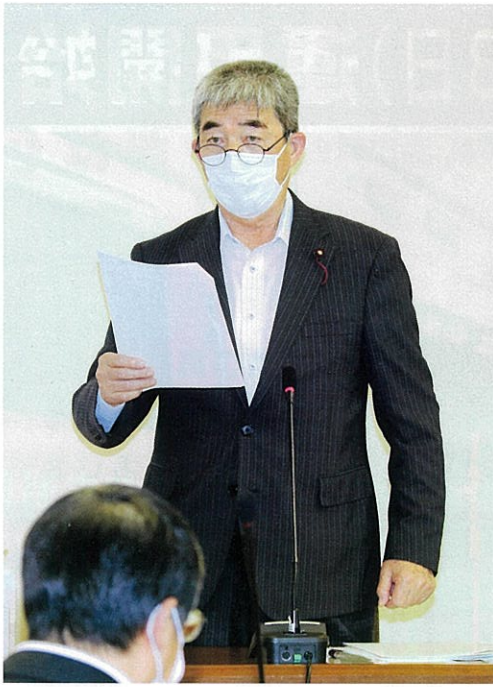
戦前というか戦後というか、明治の辺りというか、明治維新の辺りというか——

あの辺の日本って、私がそこに居合わせたわけじゃないんですけども、いろんな事業を国家プロジェクトとして、どんとやったわけですよ。今の日本の在り方を見てると、少しそういう姿勢に欠けているという。例えば、中国だったら、非常に素早くデジタル化であったりとか、電気自動車の普及であったりとか、そういう技術革新を、もう国家プロジェクトとしてどかんとやるわけですよ。こういったスピードに欠けるところがあるんじゃないかと、五島だいすけは思っております。

デジタル庁に関する話などは(上の質問にある通り、2020年には菅総理にデジタル庁神戸事務所の設立を要望してきました!)、スピード感を持ってずばっとやっちゃうんだというような動きが必要じゃないかと思っております。神戸は、ここで国と一緒に、デジタル通貨であるとか、地域の店のデジタル的プラットフォームだとかを、もうここで実験してくれというプロジェクトをできる都市だと思っています。3万人とか5万人とか小規模のまちでやると、150万人都市の神戸でやるのとは意味が違うので! 新しい制度をまず神戸で実験しよう、神戸でできたら日本中でやってみよう、そういう実験都市になるくらいの気持ちが必要ですよ! 今こそ、役所・政治・民間の力で神戸の大胆な前進を!

**このようなシステムが出来ていけば、今回の子供10万円給付などにも使用できた。**





令和3年度主な諸役  
福祉環境委員会 委員  
市会運営委員会 副委員長  
神戸市都市計画審議会 委員



# 坊池正

ぼういけただし

**自民党**  
www.jimin-kobe.com  
**市政報告**  
発行：自由民主党神戸市議員団  
神戸市中央区加納町 6-5-1  
TEL 078-322-5846  
**2022/2**  
(西区版)

## ご挨拶

神戸市は、阪神・淡路大震災による危機的な財政や2009年から3年近く続いた民主党政権による事業計画の中止により例：神戸市西区「高和志染線」「玉津大久保線」、国直轄事業「神戸西バイパス延伸事業」「平野拡幅・神出バイパス延伸事業」等、さまざまな公共事業が中止・凍結されました。しかし、神戸市の財政危機からの回復と地域住民からの国への強い要望により、事業計画凍結から再開までに10年近い遅れを取りましたが、漸くさまざまな公共事業が進められるようになりました。

この度の市政報告では、久元市長の英断により、令和4年2月14日に移転オープンする「西区役所」新庁舎(西神中央)と、神戸西バイパス一般部供用の遅れと西神南地区の人口増加や高齢化の進展による災害・救急出動件数の増加に対応するため、令和3年12月13日に運用開始しました「西消防署西神南出張所」新設の紹介、そして、救急隊の新型コロナウイルス感染対策、女性消防職員の活躍と待機設備の整備、最後に急激な新型コロナウイルス感染拡大や急病等で救急隊の運用が逼迫しないように、救急相談ダイヤル「#7119」などのさまざまなコールセンターの案内も掲載しましたので、ご一読して頂けたら幸いです。

神戸市議員 坊池正

## 西区役所 新庁舎(令和4年2月14日)OPEN 実現!

Q 坊池正 (市民参画推進局) 2013年3月5日

西神中央出張所でのサービス拡充を求める声がある中その機能強化についてどのように考えておられるか?

区役所の業務は、福祉関連、各種証明、届け出や市税、子育て関係の窓口など非常に幅広く、その利便性は区民生活に直結するものであります。市民参画推進局は、区役所窓口のサービス向上をトータル的にコーディネートする立場だと考えますが、西神中央出張所でのサービス拡充を求める声がある中、その機能強化についてどのように考えておられるかお伺いたします。

A 市民参画推進局長

西神地域の行政サービスが総合的に向上できるように取り組んで参りたい。

西神中央出張所は、西神ニュータウンの開発と進展により、住民票、戸籍等の市民化業務を行うために平成3年に設置された西神中央サービスコーナーがスタートとなっております。その後、業務拡充の要望を受けまして、事務所スペース、人員統制の制約がある中で、国民健康保険、年金等の手続対応、平成20年度に児童手当、母子保健サービスなどの子育て支援業務対応できるようになりました。しかし、総合的な組織体制がなく、障害者福祉関係や税の納付書の発行など手続ができない部分が残っており現状でございます。

こういったことを通じまして、市民参画推進局といたしましても、西神地域の行政サービスが総合的に向上できるように取り組んで参りたい。



令和4年2月14日、西区役所が西神中央に移転します。



現在の「西区役所(玉津町)」での業務は令和4年2月10日が最終営業日となり、令和4年2月18日に支所を暫定開所する予定です。区役所移転に伴い「西神中央出張所」も令和4年2月10日が最終営業日となります。

# 西消防署 西神南出張所(令和3年12月13日)運用開始

## 神戸市西消防署西神南出張所



西消防署 西神南出張所は、西神南地区の人口増加や高齢化の進展による災害・救急出動件数の増加に対応するため、新設されました。出張所には、消防隊・救急隊をそれぞれ1隊ずつ配置され、救急車(西93)、小型ポンプ車(西1)、ポンプ付特殊災害対策車(西21)計3台を配置、西神南ニュータウン、西区東部への駆けつけが早くなり、消防・救急サービスの向上が期待されます。また、坊池が長年要望して参りました台風・災害時に消防団、応援部隊などが待機場所として、使用できる多目的スペースも実現!

### ポンプ付特殊災害対策車



ポンプ付特殊災害対策車(西21)には、水900kg、CAFS(キャフス)、ハズマット(防護服)などが搭載されております。狭い現場、狭あい道路には、小型ポンプ車(西1)が対応。

### CAFS 泡放射訓練



CAFS(キャフス)とは、Compressed Air Foam Systemの頭文字をとっており、圧縮空気泡消火装置という意味です。水と消火薬剤(成分:石けん等と同じ成分なので環境にやさしい)を高圧の空気で混ぜて泡を作る装置で、消防車の中に組み込まれています。

吐水ホース内を泡溶液と圧縮空気が流れることから、水のみが流れる時の重量と比べると非常に軽くなり、消火作業の負担を軽減できます。また水100Lから700~1500Lの消火泡を作り出し消水量を削減させることに加え、水に比べると5倍の冷却効果を持っている消火装置です。住宅火災のほかプラスチックやゴム製品、水だけでは消しにくいタイヤが燃える火災にも大変有効です。

### 消防署配置図



坊池の長年の願いであった、各消防署から市街地への直線距離が3km以内となり安心・安全がより向上しました。西神南出張所は、北区への救急にも活躍しております。

### ハズマット



### 西区には工業団地があるため「方面特殊災害隊」が設置

ハズマットは、NBC災害(放射性物質・生物剤・化学物質による災害)やガス災害(都市ガス・LPガス等)などの特殊な物質に係る災害(特殊災害)に出動する「方面特殊災害隊」です。

陽圧式化学防護服は外からの空気を完全に遮断することで隊員の安全を守る防護服です。空気呼吸器も防護服の中に入っています。防護服は化学薬剤が付着しても溶けづらい素材でできています。

## 女性用ユーティリティー導入 実現！

Q 坊池 正 (決算市会 消防局) 令和2年10月9日

古い消防署庁舎には、女性が隔勤で泊まれる待機室等がありません。女性用設備の整備が必要と考えるが。

女性消防職員の女性用ユーティリティーについてですが、灘消防署、長田消防署庁舎が古く、女性が隔勤で泊まれる待機室等がありません。建て替えはまだ先ですが、女性用設備の整備と感染防止対策の面からの若干のリニューアルが必要と考えますが、見解をお伺いいたします。

A 丹本消防局総務部長

女性消防職員の待機室、浴室などの女性用ユーティリティーは重要であると考え、今後導入を進めて参りたい。

女性の働きやすい執務環境整備は、女性専用の待機室、浴室、洗面所、トイレ、更衣室などの女性用ユーティリティーは重要であると考えております。現在整備を進めています兵庫消防署や西神南地区出張所には女性用ユーティリティーの導入を決定しておりまして、今後建て替え等を行う消防庁舎につきましても、女性用ユーティリティーの導入を進めて参りたいと思っております。



とても落ち着ける空間設計に

西神南地区出張所(女子用 UT) 今後、女性警察官同様、女性しかできない業務が増えると考え、女性の活躍を期待する。



救急隊は、出動後 N95 マスク、上下の感染予防着を毎回交換、救急車は30分かけて消毒し、署内も職員間の防止に努めております。

## 救急隊員のコロナ感染対策・メンタルについて

Q 坊池 正 (決算市会 消防局) 令和2年10月9日

感染防止の為、自宅に帰れなかった隊員事例を聞きましたが、感染対策やメンタル面の配慮や取組は？

緊急事態宣言時に、救急隊員の家庭環境によっては、ウイルスを持ち込まないように、自宅に帰れなかったという事例を聞きました。職場から帰る際には、感染拡大を少しでも防ぐための対策や隊員のメンタル面でのどのような配慮や取組を進めてきたのか、お伺いをいたします。

A 丹本消防局総務部長

医師から感染対策の有効性等の講義を受け、感染防止策を徹底し、救急活動時の不安解消に努めている。メンタルにも努める。

救急隊は、不特定多数の傷病者対応から、全ての救急出動において、マスク、上下の感染予防着、ゴーグルの装着、そして救急車内の消毒、換気等の感染防止策を徹底してございます。

また、庁舎の中にウイルスを持ち込まないように、感染防止着等の感染防護機材を脱着するとともに、消防局独自で定めたガイドラインに基づき、職員間の感染防止につきましても努めています。

感染拡大期には、家に帰ったときの家族への感染も含めて、不安を感じる職員もいることから、医師から新型コロナウイルス感染症の感染経路の実態だとか対策の有効性等の講義を受け、救急活動時の不安解消に努めてございます。

あとメンタルヘルスにつきましても、日々の業務の中で職員のメンタルの状況を把握し、産業医などの関係機関との緊密な連携を図りながら、メンタルヘルスに取り組んで参ります。



令和2年決算特別委員 危機管理室・消防局等 令和2年10月9日

## 女性消防職員の活躍について

Q 坊池 正 (決算市会 消防局) 令和2年10月9日

女性消防職員の活躍がますます期待される中、現在の女性職員数や配置状況、従事についてお伺いします。

女性消防職員の採用開始から20年以上が経過し、課長級の幹部職員にも登用されるなど、女性職員の活躍がますます期待されています。現在の女性職員数や配置状況、従事している職についてお伺いします。

A 丹本消防局総務部長

消防組織の女性比率が全国的に低い中、女性が長く働き続けることができる環境づくりと、女性の活躍を推進して参ります。

消防組織の女性比率は2.9%、警察9.8%、自衛隊6.9%と、女性職員の割合が低いのが全国的な状況です。

神戸市消防局の女性職員の割合は、現在4.0%、64名が勤務、交代制勤務者21名、毎日勤務者39名、育児休業者4名、消防司令長(課長級)1名、消防司令(係長級)4名という状況です。

女性職員の活躍は市民サービスの向上や消防組織の活性化につながると考えておりまして、男女を問わず柔軟な働き方ができるフレックスタイム制や在宅勤務制度を導入し、ワークライフ・バランスを推進し、育児の短時間勤務や部分休業制度などの導入も図り、長く働き続けることができる環境づくりの推進に向けて、女性の活躍を推進して参ります。

# 病院？救急車？に迷ったら

この「5ケタ」ダイヤル！

# #7119

24時間  
年中無休

# 078-331-7119

「夜中に熱が下がらない」、「お腹が痛い」など

急な病気やケガで、今診てくれる病院が分からない時や  
救急車を呼ぼうか迷った時に24時間年中無休で

いつでも相談を受け付ける救急相談ダイヤルです。

看護師が救急医療相談に対応し、緊急性および受診の必要性を判断します。  
緊急性が高い場合は、119番へ電話転送し、迅速な救急出動に繋がります。  
緊急性が低い場合は、受診可能な医療機関を案内します。

# 新型コロナウイルス 健康相談窓口



# 078-322-6250

(24時間受付：多言語対応可)

- 新型コロナウイルスの感染を心配されている方
- 予防・感染症に対する相談のある方
- 発熱・せき等の症状あり  
(息のしづらさ、倦怠感、のどの痛み、味覚障害、筋肉痛、下痢など)  
\*かかりつけ医がいる場合はまずは医師にご相談ください。
- 感染者と接触があった方
- WHOの公表する流行地域に渡航歴等のある方

## 小児の初期救急医療体制

### こども急病電話相談

(看護師による小児救急医療に関する助言)

月～金 20:00～翌朝 7:00

土 15:00～翌朝 7:00

休日 9:00～翌朝 7:00

# 078-891-3499

### 子ども医療電話相談

(看護師などによる小児救急医療に関する助言)

月～土 18:00～翌朝 8:00

休日 8:00～翌朝 8:00

# #8000

 (5ケタ)

# 078-304-8899

救急を受診する

### 神戸こども初期急病センター

中央区脇浜海岸通 1-4-1 (HAT 神戸内)

月～金 19:30～翌朝 6:30

土 14:30～翌朝 6:30

休日 8:30～翌朝 6:30

# 078-891-3999

### 西部休日急病診療所

西区学園西町 4-2

(神戸市医師会看護専門学校 1階)

休日 9:00～16:40

# 078-795-4915

## 救急搬送時に必要なもの

- 保険証や診察券
- お財布
- 靴
- 普段飲んでいる薬  
(お薬手帳)



## 乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- 哺乳瓶
- タオル



## 緊急通報システム ケアライン119



速やかな救護を受けれます！  
利用者は事前登録が必要です。

一人暮らしのお年寄りや障がいがある方が、氏名、住所、既往症やかかりつけ病院、緊急時に駆けつけてくれる協力者などの情報をあらかじめ登録しておくことで、ケアライン119通報時に「近隣協力者の駆けつけ」と「消防署からの出動」により、速やかな救護を受けることができます。(固定電話のみ対応)

申込書は、各消防署・区役所保健福祉部で配布

## NET119番 通報システム



GPS機能で位置情報を  
キャッチし素早く現場へ

利用者は事前登録が必要です。  
どなた様もご利用頂けます。

神戸市 NET119 番通報システムは、聴くことや話すことが難しく、電話(音声)による119番通報が困難な方が、スマートフォンや携帯電話のインターネット機能を利用して簡単に119番通報できるシステムです。  
聴覚障害者等「FAX119」システムもあります。  
神戸市消防局警防部司令課 078-325-8519

## 安心カード

緊急時のアクションが早まる



どなた様も記入して携帯してください。

- 名前や住所
- 緊急時の連絡先
- 持病
- かかりつけの医療機関

急病やケガで救急車を呼んだ際に、救急隊や搬送先医療機関に対して、ご自身の持病や緊急連絡先などを伝える情報ツールです。

各消防署で配布 救急企画係 078-325-8524

お問合せご相談は  
神戸市議員

# 坊池 正

ぼういけ ただし  
まで

651-2311 神戸市西区神出町東100  
TEL 078-965-0400 FAX 078-965-0400  
E-Mail bouike@nifty.com

Topics 3

監査委員の現地調査

垂水区小束山交差点



ユニバー記念競技場



日頃は市役所1号館22階で会議をしていますが、このように現地に出向いて公共工事が適切に実施されたかどうかを確認する視察も行っています。実際に、工事の監理監督を行った担当者とも話せて、より理解が深まりました。



Topics 4

世界パラ陸上競技選手権大会の延期について



KOBE 2022 → 世界パラ陸上競技選手権大会

2024年春頃 延期予定



組織委員会の総会の様子

今年の夏に開催予定でしたが、コロナの影響を受けて、開催意義である「市民の皆様や子供たちの交流」が難しく、財政的な負担も増大すること等から、組織委員会としては、開催時期を延期することと



引き続き、パラ陸上の普及啓発の講演活動は続けていきます。



Topics 5

市民の皆様からのご意見・ご要望



障がいのある子供を育てています。災害時、特別支援学校が避難所にならないのでしょうか。

市内には、避難所に指定されていない学校もありますが、現在、国からの通知もあり、避難所として活用できるように関係者が協議しています。改めて状況をご報告させていただきます。



本校で市民の方を対象にしたリカレント教育の講座を開いています。広報にご協力いただけないでしょうか。

リカレント教育の推進は、神戸市としても取り組んでいるので、神戸市のHPなどにも掲載してもらえるように、お願いしてみます。



その他、ご意見を基に  
取り組んでいること

- 公共施設のバリアフリー検証(兵庫県福祉のまちづくりアドバイザー研修受講)
- 児童自立支援施設のあり方
- 教職員向け性教育指針の改訂
- 夜間・定時制高校のあり方など

# 情熱市政 NEWS

発行：自由民主党神戸市会議員団 兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

## 西区役所新庁舎 まもなくオープン!

2月14日(日)から



## 中央市民病院 今年1月から 難聴児支援スタート!

市長に難聴児支援に対する  
継続的な予算確保をお願いしました



総合聴覚センター  
(R3.4開設)

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。神戸市会の山口由美です。

新しい年となり、これからという時に再び感染状況が悪化し、心配な日々となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。私は感染防止対策を行いながら、基本的には活動を続けております。コロナ禍特有、あるいはその他の課題も含めて様々なご相談をいただき中で、皆様の苦しみや生きづらさをひしひしと感じます。至らないことばかりですが、少しでも皆様が安心や希望を見出せるよう、目の前の活動に力を尽くします。本年もご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナワクチン接種コールセンター ☎078-277-3320 受付時間：平日(月~金)8:30~20:00 休日(土日祝)8:30~17:30



神戸市会議員

作成者 山口 由美

西区選出4期目

ご意見・ご感想は...

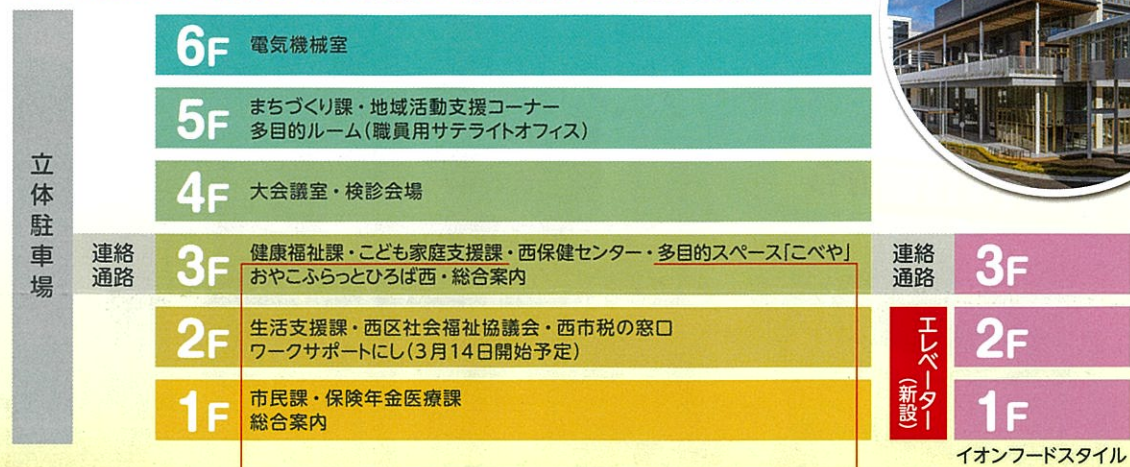
山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933 E-mail.yamaguchi@yumiguma.com



Topics 1

西区役所のこれから

新庁舎フロア配置図

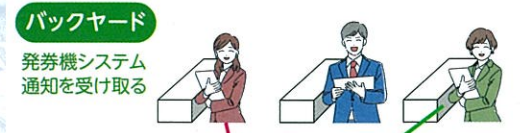


山口由美が注目するポイント

神戸市初!!

Point 01 福祉総合窓口導入

[動かさない窓口(ワンストップ)]



複雑な相談については、担当者が変わる度に何度も同じ説明をする必要がないように職員間で相談内容を共有できる仕組みも必要と考えます。

山口

**現 玉津庁舎・西神中央出張所は R4.2/10が最終日です**

**現 玉津庁舎は R4.2/18に玉津支所(暫定)としてオープン!!**

山口由美が注目するポイント

Point 02 多目的スペース“こべや” 「企業・学生・市民が活躍・交流する場」

**EVENT 1 西区をイロどるワークショップ**  
神戸芸術工科大学の学生と絵の具で西区をイメージする柄や模様を自由に描いて、オリジナル文字をつくるワークショップです。  
**開催延期**

**EVENT 2 押しベジプロジェクト! ~西区野菜を大学生と販売体験~**  
地元農家の協力で、大学生・小学生が野菜について学び、野菜の販売を体験します。  
**2/23・3/19 開催予定**

**EVENT 3 はっぴ〜にし NIKO SHOP**  
西区内の障害福祉サービス事業所で作製された製品などを販売します。  
**3月以降 開催予定**

KIITO:300と連携

**KIITO:300 (キイト サンマルマル)**  
子どもからシニアまで、クリエイティブの芽を育て、育む交流拠点。昨年9月25日にオープンしました。社会貢献活動のための「KIITO:300ファーム」こどもの学びのための「KIITO:300キャンプ」

Topics 2

中央市民病院「総合聴覚センター」での新たな難聴児支援





神戸市会議員



岡田ゆうじ

自由民主党神戸市会議員団市政報告

2022. 2

No.37

# オミクロン対策

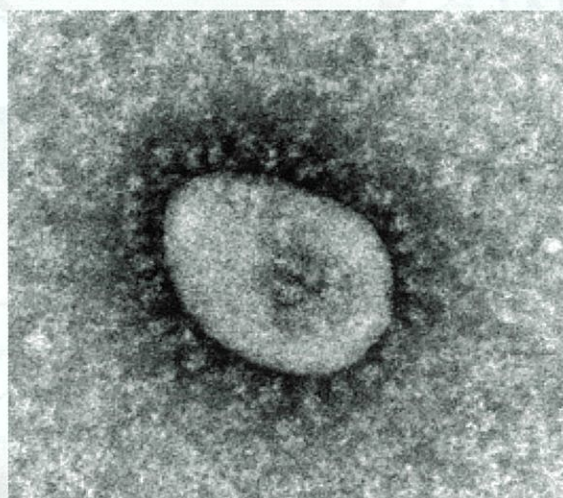
新たな変異株「**オミクロン株**」の登場と共に、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。

神戸市は、従来からサーベイランス（調査監視）体制を確立して、変異の最新状況と感染拡大との関係を、正確に市民の皆さんにお伝えすることを努めてきました。その調査結果によると、**本年1月3日よりオミクロン株は急拡大し**、その時点で既に**8割以上の感染がオミクロン株によるものであったと**、市の健康科学研究所の調査研究等で明らかになっています。

今後、感染状況の最新情報、とりわけ変異株の動向については、毎週木曜日に市からホームページ等で公表されますが、今は一刻も早く、感染拡大に対策効果が見込まれる**ワクチンの接種**、即ち新規は勿論のこと1、2回目接種が終わった方への3回目接種を進めて行くことが重要であり、年明けから順次、対象者に3回目接種券が配送されているところです。

1、2回目接種に引き続き、区役所等に「**接種申込お助け隊**」を配置し、皆様のご予約がスムーズに進むようお手伝いします。また3回目接種より「**おまかせ予約**」を導入し、かかりつけの医療機関がない方などを対象に、**市が代わりに予約をお取りします**。

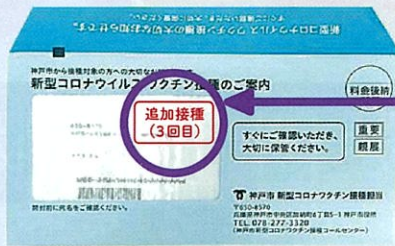
市民の皆様におかれましては、早めの追加接種にご協力お願い申し上げますと共に、岡田ゆうじ事務所でも接種相談を受け付けておりますので、お気軽にご連絡下さい。



新型コロナウイルスのオミクロン株の電子顕微鏡写真（国立感染症研究所）

# 新型コロナウイルスワクチン接種予約（3回目）の方法

## ● 接種券が届きます



1、2回目と同じ封筒で、名前の右上に「追加接種（3回目）」と記載があります

## ① かかりつけの診療所・病院で直接予約

1、2回目接種がかかりつけの診療所・病院の場合は直接予約して下さい。

## ② 「おまかせ予約」を利用

追加接種用の接種券に添付された「おまかせ予約チケット」を切り取り、連絡先を記入の上、同封の返信用封筒で神戸市に返送して下さい。折り返し、お手紙で予約結果をお知らせします。

- 最大2週間程度かかります
- 接種の日時は指定できません
- 接種場所は集団接種会場（垂水区役所）となります（ワクチンはモデルナ社製）

ワクチン接種 おまかせ予約チケット	
以下の場合、このチケットを使用しないでください。	
● かかりつけの診療所・病院が接種をしている場合は、そちらに直接、予約してください。	
● 接種の日時・場所、ワクチンの種類の希望がある方は、インターネット予約やお助け隊をご利用ください。チケットを使用する方は裏面をお読みください。	
お名前	
電話番号またはFAX番号（記入をお願いします）	
電話	—
FAX	—

「おまかせ予約チケット」のイメージ

## ③ 「お助け隊」でも予約が取れます

WEB予約が不安な方をサポート

新型コロナ  
ワクチン接種  
申込お助け隊

スムーズに予約ができるよう、お手伝いします。

特にインターネットの操作が苦手な方などのために、区役所に配置された「ワクチン接種申込お助け隊」が皆様の予約をサポートします。

- 接種券を封筒ごとをもって会場（垂水区役所）へお越し下さい（ご家族でも構いません）。
- 当日の混み具合や受付状況を、右のQRコードで確認できます。

